



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:庄瀬寛 幹事:橋本豊 会報委員長:北山陽一

2011年10月4日 第1015回例会(第1014号)

🌀 本日の例会 🌀

今週の歌 「君が代・我等の生業」

国際ロータリー第2660地区

矢橋弘嗣ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

🌀 次回例会のお知らせ(10月11日) 🌀

卓話 「わがふるさと“出雲”」

飛田昭男 会員

本日の会長の時間

「神仏霊場会の話」 庄瀬 会長

私は真言密教である修験道の山伏です。大方の日本人の宗教感とは古来の神祇信仰に仏教が交流して神と仏をとともに崇拝するものです。七五三は神社参り、結婚式はキリスト教、葬式は寺、家の中には神棚と仏壇が違和感なく存在して、神と仏に対しておらかな信仰心もつ民族です。しかし明治政府は神仏分離令により寺を弾圧し、廃仏棄釈などが行なわれ、以来日本人は寺と神社は別のもと考えていました。ところが近年になり、寺と神社の双方から神仏和合の動きが出てきました。その結果「神仏霊場会」が発足したのです。伊勢神宮を中心に2府5県にある寺と神社の総数152ヶ所の参詣参拝です。公式ガイドブックも発行されています。家内と一緒に毎週、電車とバスで参詣参拝しました。昨年末に152番目の結願でした。

前回〔9月27日〕例会記録

来客

横田 聡 君

(卓話者・地区社会奉仕委員・摂津)

幹事報告

橋本 幹事

今年度「クラブの概況書」をBOXに配付しました。10月4日(火)ガバナー補佐訪問、及び10月18日(火)ガバナー公式訪問の際に必ずご持参下さい。又両日、会員様に於かれましては、多数の出席をお願いします。委員長様宜しくお願ひします。

第1回地区財団FVP(フューチャー・ビジョン・プラン)セミナーの案内

日時:10月22日(土) 14:00~16:30

場所:大阪YMCA会館 2階ホール

寺井会長エレクトよろしくお願ひします。

クールビズは本日の例会迄とさせていただきます。

出席報告

飛田 委員

【9月27日】

在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 27名(内出席規定適用免除者 6名)

ホームクラブ出席率 72.97%

9月6日のMUを含む出席率 94.74%

関西大学RAC例会出席担当

10月24日(月)

Dグループ 新井、北村(康)、速見

北村(雅)各会員

会場:中央体育館 図書資料室

時間:19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

ニコニコ箱

横田 聡様(地区社会奉仕委員・摂津) 御礼はニコニコ箱に寄付させて頂きます。

延 会 員 心からの感謝を込めて、有難うございました。

木元 会 員 米山梅吉記念館に行ってみりました。感謝。

庄瀬 会 員 米山梅吉記念館旅行ご苦労様でした。

杉本 会 員 米山梅吉記念館見学旅行お疲れ様でした。

内田 会 員 米山梅吉記念館とゴルフ旅行有難うございました。

和田 会 員 例会欠席のおわび。

山崎 会 員 3回目でやっと御殿場で富士山を見てプレーする事が出来ました。皆さんお世話になりました。

本日分 47,000円

累 計 406,000円

卓 話

「2011 - 2012年度地区社会奉仕委員会の活動について」

地区社会奉仕委員会

委員 横 田 聡 様

(山崎会員紹介)



本年度の地区社会奉仕委員会では、別紙配付資料のとおり活動方針のもと、活動計画を立てて、これに取り組んでいます。とりわけ、“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを主要活動としています。

まず、7月9日に開催された「クラブ社会奉仕委員長会議」において、川上地区社会奉仕委員長からキャンペーンの主旨とその内容についての説明があり、また、岡部ガバナーからも被災地支援についてのお話がありました。さらに7月11日付で、岩手・

宮城・福島の3県の各ロータリークラブあてに、“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを当地区内で繰り広げていること。また、我々のメンバーがメイクアップに伺った際は、忌憚のないご意見、ご要望をお聞かせいただき、また、継続的な情報交換をしていただけるようお願いする」旨の文書をお送りしました。

また、事前に地区内各クラブあてに行いましたアンケート結果を見ますと、概ねこのキャンペーン対しては「良い企画である」との意見が多かったように思います。もうすでに被災地のロータリークラブとのコンタクトを取り、支援活動を行っているクラブがある一方で、被災地が遠方であり、コンタクトを取るきっかけさえつかめないという戸惑いの意見や、メイクアップをすることによって先方に負担をかけるのではないかという意見も多く寄せられました。

地区社会奉仕委員会としましても、まずは被災地を訪問し、現状を見て、聞いて来る必要があると考え、来る10月4日から6日にかけて、メンバー6名で宮城県を訪問することになりました。2520地区復興支援特別委員会と合同会議、仙台RC、仙台南RCの訪問を予定しています。この結果につきましては11月の地区大会、友愛の広場のパネル展示で紹介できることと思います。

参考までに、摂津RCの取り組みについて紹介しますと、震災発生当初の対応としては、義援金を募って地区へ送ったこと、被災地で受け入れる予定だった青少年交換留学生を摂津RCで受け入れることにしたことが挙げられます。本年度に入った7月に、遅ればせながら震災復興プロジェクト委員会を立ち上げ、3回の委員会を開催し、宮城県大河原町(仙台南約25km)にある大河原RCを通じて被災地支援を行うことになりました。今のところ電話で連絡を取り合っていますが、具体的な話を進めるにあたって、やはりお互い顔と顔を合わせる必要があり、先方RCの例会を訪問し、例会後に会議を持つことができるよう打ち合わせを行ったところです。

このように、クラブ独自の活動を行おうとすれば、やはり自ら地元に出向いて、現状を見たり聞いたりすることから始まると思います。また、それをきっかけにして継続的な交流ができればありがたいと思っています。結びに“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンが、活動方針にありますように、各クラブが主体性を持って行動できるような企画、支援となればありがたいと思います。